

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607 京都市山科区大宅山田町34 京都橘女子大学図書館 小林倫道 気付
(Tel) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

第 4 回 大学図書館員京都研究集会

現在支部委員会では、秋に第4回大学図書館員京都研究集会を開催すべく準備を進めています。この研究集会では、今、皆さんが一番注目して何かと話題になっている「インターネット」をテーマにしたいと思っています。

「インターネット」は、昨年に東京で大図研オープンカレッジとして行われ、立ち見が出るほど盛況でした。しかし、このような企画は関西ではあまり行われておらず、大図研京都支部として是非、実施しようということになりました。このテーマなら会員のニーズにマッチすることは間違いなく、また内容的にも十分満足して頂けるよう準備をしています。ご期待下さい。

京都研究集会の企画が今までの企画と一味違う「目玉」は、何と云っても、実際にUNIXマシンに触れ、世界を旅し、「バーチャルライブラリー」(?)を実感して頂けるところにあります。日程や申し込み方法等の詳細については以下の通り。場所は立命館大学びわこ・くさつキャンパスです。奮ってご参加下さい。

日 時：10月15日(日) 午前10時～午後4時

場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス

参加費：2,000円

定 員：70～80名

(申込方法)

往復ハガキで「第4回大学図書館員京都研究集会参加希望」と明記の上、氏名、所属、連絡先、(返信側にも返信先住所氏名を忘れずに)記入し、下記宛申込んで下さい。交通機関等の詳細を記したものをお送りします。

(申込先)

〒606-01京都市左京区吉田本町
京都大学人文科学研究所
堤美智子 まで
質問等は
075-753-6907(同上)へ

目	第4回大学図書館員 京都研究集会…… 1頁
次	全国大会のおしらせ②…… 2頁

♥ とともに感動できる大学図書館づくりをめざして ♠

大学図書館問題研究会第26回全国大会のおしらせ 第2弾

於 前橋テルサ 1995年8月19日(土)～21日(月)

前号で全国大会の概要についてお知らせしましたが、その後確定した事項について補足します。

(2日目の課題別分科会)

今年の課題別分科会はすべて半日制です。これは例年、分科会のハシゴをする人が多いための措置と考えられます。皆さん、組合せをよ～く考えて参加しましょう。

午前

- ① 大学図書館史
- ⑤ 資料収集と蔵書構成：廃棄と保存
- ⑦ 著作権
- ⑧ 建築と設備
- ⑨ 逐次刊行物
- ⑪ 専門職制度

午後

- ② 大学と大学図書館
- ③ 利用者サービス
- ④ システムとLAN
- ⑥ 目録・OPAC：分類と主題検索
- ⑩ ILLと相互協力
- ⑫ 職員研修

また主題別分科会では「群馬評論」をテーマに開催地企画、夜の自主企画では短大の集まりも催されるかも知れません。申込等の詳細や、確定版プログラムについては「大学の図書館」議案書号に出ますので、最終的にはそちらで御確認ください。

総力
特集

会場までの交通機関

さ～て、大会の内容ももちろん気になりますが、大会に参加するには会場まで何らかの方法で移動しなければなりません。当然馬鹿にならないのが交通費。これから「どうやって会場まで行くか」を検証してみましょう。

●飛行機

京都～東京ぐらいでは飛行機に乗るメリットもあまり有りませんし、かえって飛行場まで(から)の交通機関を考えるとまあ乗る人はいないと思いますが。大阪(伊丹、関空)から東京(羽田、成田)まで14,600円(往復26,500円)。前橋までが新幹線なら5,100円、在来線特急なら3,890円。これに空港前後の交通費。ざっと片道

20,000円といったところでしょうか。

●新幹線

関東へ行くなら普通考えるのは何といっても新幹線。当日、早朝に出れば午後からの大会には間に合うでしょう。お値段の方は乗車券9,170円、特急券が「のぞみ」と上越新幹線の「あさひ」が繁忙期料金で9,350円。しめて18,520円 (片道)と相成ります。「ひかり」にした場合は17,570円、自由席の場合は更に500円引きですが、往復で35,000円近くなる現実には小市民にとって十分厳しい。

●新幹線と在来線

東京からは在来線特急もあります。東京までの「ひかり」が12,970円、前橋までの特急「あかぎ」が3,890円、しめて16,860円 (片道)。これではたいそう変わりませんなあ。まあ、バリエーションとして往復切符 (片道600キロ以上。京都～前橋なら適応可) や、生協でバラ売りしている「新幹線エコノミー切符」等を細かく駆使して更に節約する方法はありますが、新幹線を使えばどんなに値切っても往復3万ぐらいはかかるということですか。

●夜行長距離バス

さて、ぐっとお安くする定番はやはりこれ。おなじみドリーム号 (これ以外にもあります) が京都から新宿まで乗って8,030円。「バスはどうも」と思われる向きもおありでしょうが、背に肚は代えられません。車中泊の決心さえつけば前日の夜乗って日の出とともに東京入り。余分の休暇もとらなくていいし、江戸っ子気分朝のひと風呂浴びてからゆっくり会場入りできます。東京からは新幹線で5,100円、在来線特急なら3,890円。安い方をとって合計11,890円 (片道)。これなら大分安くなった感じですね (入浴料除く)。しかし、もっと「革命的」に安くする方法はないものか。

●自家用車

このウマミは人数が増える程費用が安くなる所にあります。また気の合う仲間でのドライブも楽しいもの。飛ばすなら高速を使って、①名神～東名～関越コース。物理的にはこれが早いはずですが、首都圏の渋滞があるので、よく知っている人の話によると、②名神～中央で諏訪まで行き、蓼科高原を越えて軽井沢から佐久、そこから上信越道～関越に入って前橋へ、というのがむしろ確実に景色もよくて涼しい、と三拍子揃っているとのこと。①の高速代が前橋まで13,000くらい。②ならもう少し安くなるはず。ガソリン代が、これは車によって全く一概には言えませんが、乱暴に7,000円としましょう。しめて20,000円。4人乗りでひとり頭5,000円 (片道) となります。ただし、運転手にはそれなりのお手当が必要ですし、頭数を揃えたり、気を使ったり、色々と

面倒もあります。このあたりの価格帯をベースに車種や人数によって上下する、というところ。他に裏技として、バスを貸切ったり、全部地道で行くという方法もあります。

●在来線純行

やっぱり切札はこれ。京都から前橋まで乗車券のみ9,170円。しかしこの時期まともに乗車券を買う人は言うも愚かなお人好しです。「青春18切符」。知らない人はこの機会に覚えましょう。春、夏、冬の一定期間に売り出されるヒット商品で5枚綴り11,300円。在来線の普通、快速、新快速に限り1枚で1日間乗り放題（日付が変わって最初に停車する駅まで有効。もちろん途中下車自由）。名前は「18」でも年齢制限なし（ただし子供でも同一料金）。しかも大学生協ではこれを1枚ずつ切り離して販売しているので必要枚数だけ購入。これなら何と、驚くなかれ、たったの2,260円で前橋まで行けてしまう。しかも車中での読書、景色の楽しみ、駅弁の味わいは、過程を楽しむ旅の本質に迫るものといえましょう。但し、京都発の朝一快速から乗り継いでも東京にたどり着くのは午後3時を回る。夕方の懇親会には何とか間に合うでしょう。開会に間に合うためには前日夕方までに京都を立ち、大垣であの有名な「大垣鈍行」（大垣発東京行）に乗らなくてはならない。この場合は途中（岡崎付近）で日付が変わるので、それまでの普通運賃（1,500円位）を別途払わなくてはならない。ただこの「大垣鈍行」、日本で数少ない「サバイバル交通機関」と言うにふさわしいもので、混む時は相当混む。座れなかった日にゃあ悲惨なもので、それなりの覚悟が必要だ。早めの電車で大垣入りし、早くから並んでおくのが賢明。ただ、8月18日の晩には有り難いことに同じ便がもう1本増発されるのでかなり混雑は緩和される筈。静岡駅では昔ながらの駅弁・缶ビール売りが回ってきたり、えも言われぬ情緒がある。「貧しかったけれど古き良き時代」の心に戻りたい人には絶対お勧め。ちなみに東京には早朝4時台に着くので、朝風呂も可能。

●その他

「変態ルート」に、近鉄～名鉄～JR～小田急と私鉄を乗り継いで東京に出る方法もあります。料金など面倒でとても調べる気にはなりません、東京までならJRの普通運賃よりは若干安くなる程度だと思います（時間的ロスを考えれば、決して安くつかないと思いますが）。

●スペースの都合で（または馬鹿げているという理由で）本編に収録できなかったもの

フェリー（京都～大阪港～徳島港～東京港～前橋）

自転車（東京までの日本最短記録、約20時間。私の知ってる人、前橋まで7日）

徒歩（昔はみんな歩いていた。偉いですねえ）

まあ色々な方法があるわけですが、お金のことはともかく、折角行くんだったら近くの観光地を巡ったり、途中で楽しむとかして行っただけの元をとりましょう。あつ、もちろん全国大会でもね。